

イヒナビ

vol.4

ihinavi

September-2/2024

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

年々凶悪化する空き巣に備える

**侵入窃盗の発生場所は
一般家庭が4割以上**

今の住まいは大丈夫ですか？

自宅の防犯対策チェック

2階リビングは防犯上安全？

侵入リスクが低いのは？

**空き巣に
入られない家**

ヘーベルハウスは
防犯面でもサポート

**2階リビング
が良い理由**

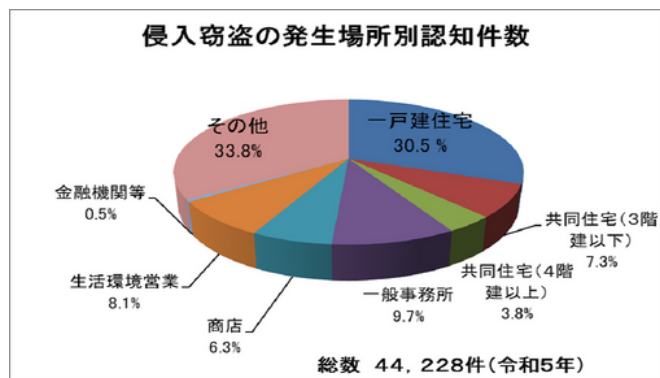
侵入窃盗が狙うのは一般家庭

組織化する窃盗グループとSNSでの闇バイト

広域強盗事件がここ数年、とても増えています。そして手荒な手段で金品を奪っていく事件が多発しています。その理由の一つは、SNSで高額な報酬に惑わされ、気軽に闇バイトにはまっていく若者たちの存在です。

最初は、簡単に高収入を得られるバイトだと思っていたら、実際は犯罪に巻き込まれていたケースも少なくありません。闇バイトに加担した若者たちも、自分たちの素性や家、家族なども主犯格に知られているため、犯罪に手を染めなくてはならない状態になってしまいます。

侵入窃盗が一番発生しやすい場所是一般家庭



侵入窃盗の認知件数は、平成15年から令和4年まで減少しましたが、令和5年は4万4,228件で前年比+20.9%と増加。また、侵入窃盗の発生場所は戸建てが最も多く、続いて共同住宅（3階以下）共同住宅（3階以上）と続きます。つまり一般家庭が最も狙われやすいことになります。

警察庁住まいる防犯110番より

侵入窃盗はどこから入られることが多いのか？

戸建て 1位：無締り 2位：ガラス破り 3位：合鍵

共同住宅
3階以下 1位：無締り 2位：ガラス破り 3位：合鍵

共同住宅
3階以上 1位：無締り 2位：合鍵 3位：ガラス破り

侵入窃盗の場合、左図のように、無締りで侵入する形が最も多くなっています。玄関の鍵はかけていても、他の部屋の窓の施錠を忘れているなど、多くの場合は、鍵がかかっていない場所から窃盗犯は侵入しています。



共同住宅は
ここが危険

共同住宅の場合、オートロックに過信してしまい自動扉が開いたタイミングで入り込み、エレベーターで襲われたり、また共用廊下で待ち伏せされるなどの危険もあります。戸建ては対策を施しておけばこのような心配もありません。



もう一度チェックしよう

自宅の 防犯対策

政府公報 警察庁・総務省・国土交通省資料より

① 固定電話は留守電に



特殊詐欺の犯人は声を録音されることを嫌います。留守番機能設定や録音機能のついた防犯機能付き電話が被害防止に有効です。常に留守電状態において、家族や友人の場合は、そのまま受話器を取って会話を進めることもできるので安心です。

② 固定電話は非通知番号を着信拒否

特殊詐欺の犯人は非通知で電話をかけてくる場合があります。一部の電気通信事業者では非通知番号を着信拒否にするサービスの無償化が始まっています。この機会に家族で相談してみましょう。



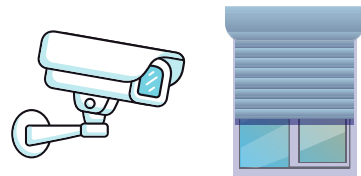
③ 宅配の荷物は直接受け取らない



宅配事業者の訪問を偽装した侵入手口には、荷物の受け取りに宅配ボックスなどを活用するなど、自宅に侵入されない方法をとることが大切です。

④ 防犯性能の高い窓ガラス・二重鍵・防犯カメラ

窓ガラスを割って侵入していく手口が大変多いので、防犯性の高い窓ガラスにしたり、また鍵も二重鍵にするなどの対策をしておきましょう。さらに防犯カメラが設置してある住居は犯人も姿を記録されるので避ける傾向があります。



⑤ 現金などは自宅に保管しない



自宅に保管する大金を狙った特殊詐欺や強盗による被害を防ぐため、自宅保管の危険性を理解しておきましょう。現金などが金融機関を活用してください。

注意したいのが、マンションの高層階！

マンションの高層階だからと安心するのは要注意です。実際にマンションの10階に雨どいをぶたいに侵入窃盗が発生した事例もあります。



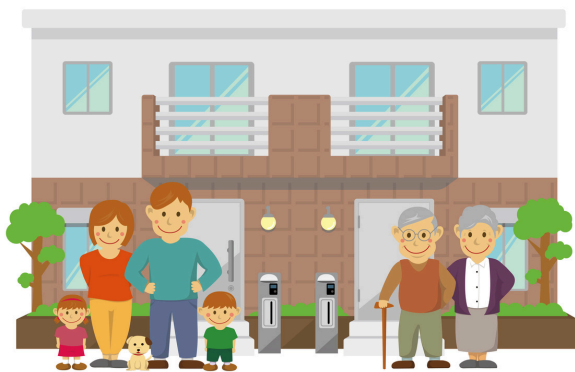
2階リビングは 防犯上安全？



東京神奈川エリアは2階リビングで侵入リスクが低い

旭化成ホームズ株式会社くらしノベーション研究所の調査結果によると、戸建ての2階リビングの侵入リスクは、1階にリビングの約半分とのこと。エリアによって差が大きく、東京神奈川での2階リビングがリスクが低いです。2階リビングは、市街地の密集したエリアに建設される傾向が考えられ、こうしたエリアは現在比較的安全であること、1階の戸締り用心の意識が高いことが要因として考えられます。

二世帯住宅ならさらに侵入リスクが低い理由！



さらに調査データによりますと、2階建てで比較した場合、二世帯住宅の方が単世帯よりも侵入リスクがなんと半分以下でした。そしてエリアの差も比較的少ないです。この理由として①親世帯が在宅し留守が少ない②両世帯でみまもりあうイメージがある③典型的間取りでなく複雑で予測しづらいが考えられます。

二世帯住宅ならではの特徴が、侵入時の手間になる

生活リズムがずれて家族が出入りするといった、二世帯特有の要素は留守を狙う犯罪者にとっては避ける要因と思われます。玄関2つの方がリスクが低いことから、世帯別の玄関が離れた場所にある、インターホンを押して留守を確認するのに2つ押す、1階窓に侵入したら2階にしか行けない、といった独立性の高い二世帯の特徴もリスクを下げる要因と考えられます。



旭化成ホームズ株式会社
くらしノベーション研究所
「戸建て住宅侵入被害15年間調査」より



そら付き2階リビングの家 そらのま

防犯面でも東京神奈川の2階リビングは侵入リスクが低いことがわかりました。
ヘーベルハウスの「そらのま」は2階リビングの天井を「ひらく」という発想で
そらとゆるやかにつながり、心地よい光や風をとりこんで、室内と同じように使える
オープンエアのマルチスペース。周囲の視線などプライバシーを保てる空間として人気です。
アイデア次第でリビングにも、ダイニングにもキッチンにも、庭にもなる、自由な空間です。

Outdoor Living



＜編集後記＞

空き巣に入られない家にするためには、日頃の防犯対策がとても大切です。また、東京神奈川エリアでは2階リビングが侵入リスクが低いこと、二世帯住宅はさらにリスクが低いことがわかりました。

SNSで簡単に侵入窃盗の実行役を集めることができるようになった現在、さらに日々の防犯対策に注力を入れていていただきたいと思います。

また、次回の特集では、今回伝えられなかった「二世帯住宅」に関して特集をしてみたいです。

ヘーベルハウスは、今回ご紹介した「2階リビング」や「二世帯住宅」はもちろん、今までお伝えしてきました「災害に強い家」などに力を入れております。

家を建てる、建て替えるなど検討されている場合は、ぜひ、私たち旭化成ホームズ株式会社東京法人支店のスタッフまで、ご相談ください。

一軒一軒のご家庭の状況や家族構成、ライフスタイルを考えて、最善の家づくりをサポートさせていただきます。

是非、お気軽に、担当までご相談ください。